

第3次うるま市地球温暖化対策実行計画 (事務事業編)

令和元年度実績報告

市民部 環境課

第3次うるま市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく、令和元年度における、うるま市の温室効果ガス排出量を報告致します。

資料1を、ご参照いただきたいのですが、こちらは、「第3次うるま市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に定められております削減目標になります。

まず先に、昨年、平成30年度の大幅な減少につきまして、再度、ご説明しますと、与那城庁舎が民間会社へ売却された事と、東棟庁舎の新庁舎開庁時からの、空調機設定不具合が改善されたこと、更には、勝連庁舎の老朽化に伴う解体が大きな減少の要因になっております。

後に判明した事ですが、平成30年度の実績には、「うるマルシェ」の、5ヶ月分の排出量、259t-co₂が漏れていたため、実際には、19,004t-co₂が平成30年度の実績値ではありますが、表記上は、昨年の報告のまま表示しております。

それでは、令和元年度の実績値につきまして、説明いたします。こちらの資料は、平成28年度実績値の、20,166t-co₂を基準値としまして、削減目標値を定めて、計画的に削減していくものであります。令和元年度実績値は、19,395t-co₂で、3.82%の削減率となっております。このことは、目標削減率の5.0%に、1.18%、量にしますと、237t-co₂の削減が足りない数値となっております。

令和元年度の削減率が伸びなかった要因としましては、前回の「うるマルシェ」未報告分が、今回、年間分が追加された事であります。

続きまして、資料2をご覧ください。

今回の資料におきましては、昨年の本部会議でもご紹介いたしました、環境省からの「地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム、通称（LAPSS）を今年度より無料にて利用しており、そのデータを基に作成しております。

まず、タイトルにもありますように、「うるま市温室効果ガス排出量」を中分類別に表した資料となっております。

分類としましては、大分類が15分類、中分類が45分類と、あまりにも、説明するデータが大きすぎるので、当該資料では、中分類に該当するデータを基に作成しております。

グラフを見ていただきたいのですが、小学校、中学校の合計7,997t-co₂は、総排出量、19,395t-co₂の41%で、学校施設が群を抜いて、最も多く温室効果ガスを排出していることがうかがえます。

学校施設の詳細につきましては、後の、資料4のご説明の際にお話しさせていただきますと思います。

続きまして、その次に、多く温室効果ガスを排出している分類としましては、「産業施設」の2,225t-co2で、総排出量の11%。その次には、「下水道施設」の2,009t-co2で、総排出量の10%。次に「庁舎」の1,685t-co2で、総排出量の8%。続いて、「その他教育施設」の1,364t-co2で、総排出量の7%。となっております。

以上の詳細におきましても、後の資料でご説明いたしたいと思っております。

続きまして、資料3について、ご説明いたします。

冒頭でも、ご説明いたしましたが、今年度より利用しております、システム、通称(LAPSS)では、各課の担当者が、あらゆるデータを入力することにより、当該施設等で利用した金額も、グラフ化して参照し、比較できるものとなっております。

こちらでも、小学校、中学校の合計308,034千円が、総額727,501千円の42%で最も多い施設であることがうかがえます。

ほかの順位は、資料2とほぼ同様の順位となっております。

続きまして、資料4の小学校と、資料5の中学校について、ご説明いたします。

資料2の説明でも、ご説明いたしましたが、最も多く、温室効果ガスを排出している施設は、学校施設であります。

資料4と5の左側にあります、データを見ますと、一般的に、生徒数や学級数の多い学校は、比例して、温室効果ガスも多く排出すると思われませんが、資料4の「あげな小学校」で、温室効果ガスの排出量は、小学校では最も多く排出していますが、生徒数や学級数では、比較的、さほど多くもない学校であります。

当該年度中に、他校とは異なる電気等の使用があったのか！確認や改善等が必要と思っているところでもあります。

いずれにしましても、各学校施設の電気使用の状況につきましては、今一度、確認していただき、電気器具のLED化等、計画的な改善が必要ではないかと思っているところでもあります。

続きまして、資料6について、ご説明いたします。

グラフを見ていただきますと、最も、温室効果ガスを排出している施設が、「IT事業支援センター」の943t-co2で、全体の4%。続いて、「うるマルシェ」の775t-co2で、全体の3%。続いて、「あやはし館」の272t-co2で、全体の1%。となっております。

「うるマルシェ」におきましては、昨年、報告漏れでして、当該年度半ばの、H30年11月からの指定管理で、259t-co2が昨年の排出量でありました。

産業施設におきましては、特に、「IT事業支援センター」、「うるマルシェ」が突出しておりますが、やはり、人の多く集まる所ほど、比例して電気を多く使い、温室効果ガスも多く排出されていることがうかがえます。

こちらも、計画的な、省エネ対策を積極的に考えていただければと思うところでもあります。

特に、産業施設におきましては、市民や、企業等にも多く利用していただく中で、省エネ等を、広く、模範的にも、PR出来ることから、率先して、計画的に実施していただければと考えております。

続きまして、資料7について、ご説明いたします。

グラフを見ていただけますと、群を抜いて、「石川終末処理場」が、960t-co2で、総排出量の4%。続いて、石川地区公民館の裏手にあります「石川第1中継ポンプ場」の325t-co2で、総排出量の1%。続いて、うるまシティプラザ隣にあります「前原第4中継ポンプ場」の103t-co2で、総排出量の0.5%となっております。

※(石川終末処理場「し尿処理施設」)…確認用！

続きまして、資料8について、ご説明いたします。

グラフを見てのとおり、最も多く、温室効果ガスを排出している、東棟・西棟は、電気メータが区分されてなく、「本庁舎」として、担当課より報告を受けており、1,298t-co2で、総排出量の6%。続きまして、「石川庁舎」が277t-co2で、総排出量の1%、となっております。

石川庁舎や、本庁舎におきましては、「空調機温度設定等の適正管理」を行ったことが減少の要因と報告を受けております。

水道庁舎におきましても、積極的に「地球温暖化対策推進会議」を開催し、退庁時、パソコンの主電源を切ったり、会議室の蛍光灯間引き等の対策を行った結果が減少につながったとの報告を受けております。

(勝連庁舎:H31.6.6までの電気量で、6/6で電気契約廃止)…追加説明用！

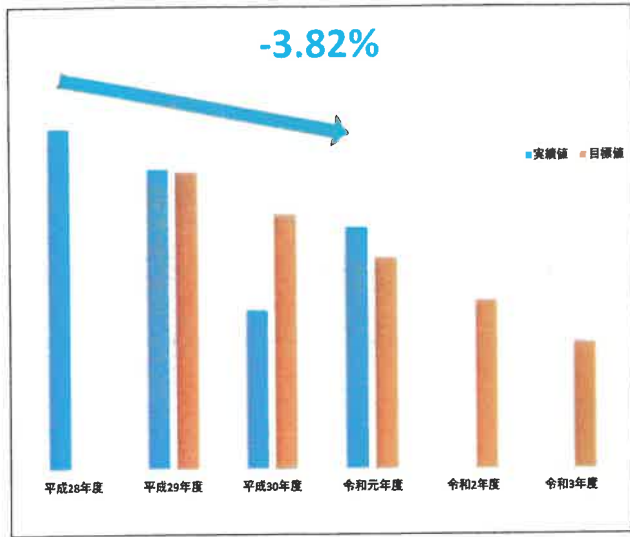
以上のデータを総括しますと、温室効果ガス排出量が最も多い施設は、学校施設であります。その他の施設におきましても、昨年と比較して、多く排出している施設等では、今後、計画的に、省エネ対策等を検討していただければと思いますので、宜しくお願い致します。

参考資料①におきましては、各施設ごとの排出状況一覧であります。後ほど、ご確認ください。

以上が、令和元年度実績報告の概要であります。

第3次 うるま市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

令和元年度 実績・目標値

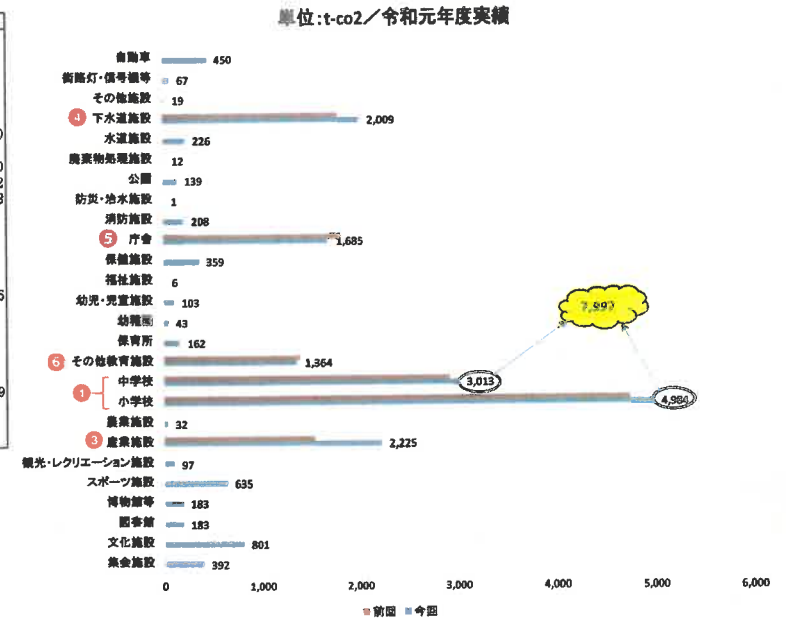


温室効果ガス	実績値		目標値	
	値	対比	値	対比
平成28年度	20,166	H28対比		H28対比
平成29年度	19,851	-1.56%	19,830	-1.7%
平成30年度	18,745	-7.05%	19,494	-3.3%
令和元年度	19,395	-3.82%	19,158	-5.0%
令和2年度			18,822	-6.7%
令和3年度			18,486	-8.3%

うるま市温室効果ガス排出量（中分類別）

※ 排出量の多い上位6施設

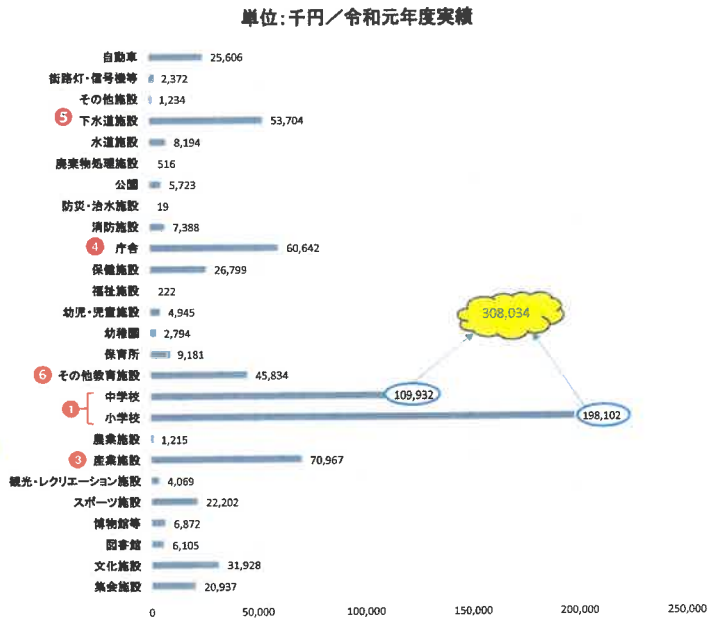
順位	中分類別	今回	前回
	集会施設	392	
	文化施設	801	
	図書館	183	
	博物館等	183	
	スポーツ施設	635	
	観光・レクリエーション施設	97	
3	産業施設	2,225	1,550
	農業施設	32	
1	小学校	4,984	4,750
1	中学校	3,013	2,932
6	その他教育施設	1,364	1,388
	保育所	162	
	幼稚園	43	
	幼児・児童施設	103	
	福祉施設	6	
	保健施設	359	
5	庁舎	1,685	1,805
	消防施設	208	
	防災・治水施設	1	
	公園	139	
	廃棄物処理施設	12	
4	水道施設	2,009	1,799
	下水道施設	226	
	その他施設	19	
	街路灯・信号機等	67	
	自動車	450	
	年間総排出量	19,395	



うるま市温室効果ガス排出量（中分類別）…利用料金編

※ 排出量の多い上位6施設

順位	中分類別	利用料金
	集会所	20,937
	文化施設	31,928
	図書館	6,105
	博物館等	6,872
	スポーツ施設	22,202
	観光・レクリエーション施設	4,069
3	産業施設	70,967
	農業施設	1,215
1	小学校	198,102
1	中学校	109,932
6	その他教育施設	45,834
	保育所	9,181
	幼稚園	2,794
	幼児・児童施設	4,945
	福祉施設	222
	保健施設	26,799
4	庁舎	60,642
	消防施設	7,388
	防災・治水施設	19
	公園	5,723
	廃棄物処理施設	516
	水道施設	8,194
5	下水道施設	53,704
	その他施設	1,234
	街路灯・信号機等	2,372
	自動車	25,606
	年間総額	727,501



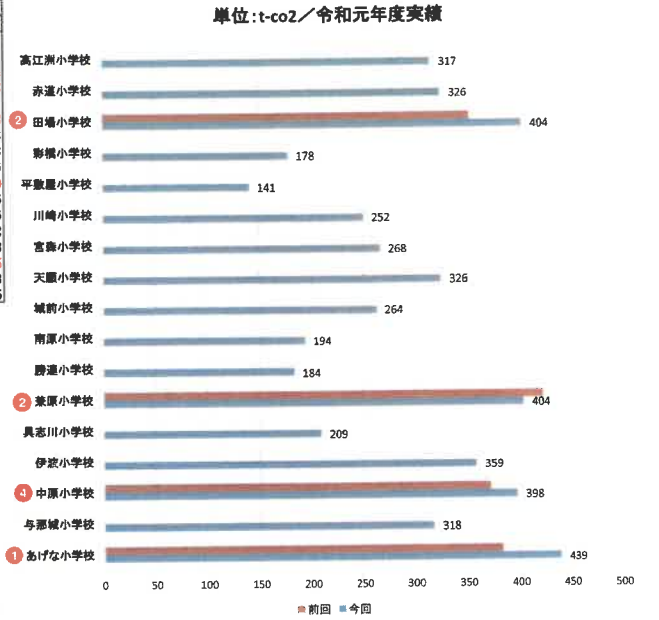
資料3

うるま市温室効果ガス排出量（小学校別）

資料4

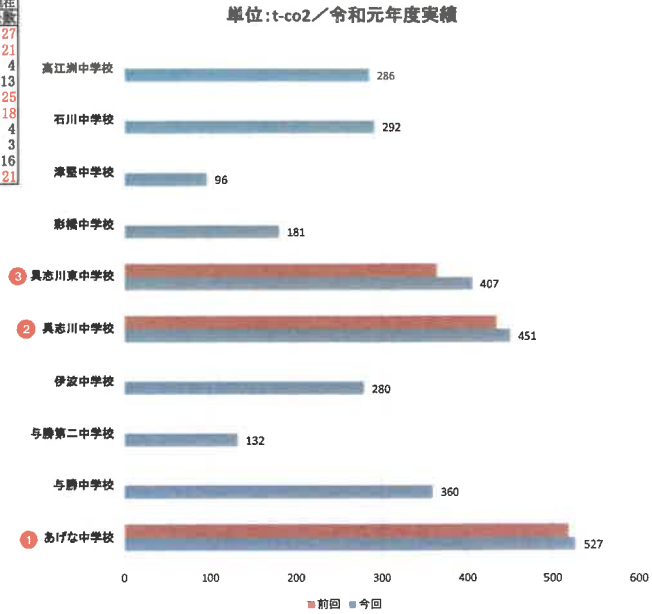
※ 排出量の多い上位4施設

順位	学校別	今回	前回	RI.5.1現在 生徒数/学級数
1	あげな小学校	439	384	452/19
	与那城小学校	318		477/21
4	中原小学校	398	373	852/34
	伊波小学校	359		713/32
	具志川小学校	209		308/15
2	兼原小学校	404	423	701/28
	勝連小学校	184		357/2
	南原小学校	194		289/18
	城前小学校	264		402/16
	天童小学校	326		761/29
	宮森小学校	268		397/16
	川崎小学校	252		402/16
	平敷屋小学校	141		227/12
	彩橋小学校	178		102/8
2	田道小学校	404	354	819/35
	赤道小学校	326		576/23
	高江洲小学校	317		584/25
	小計	4,984		8,419



うるま市温室効果ガス排出量（中学校別）

順位	学校別	今年	前年	単位：人	
				生徒数	卒業生
1	あげな中学校	527	519	776	27
	与勝中学校	360		555	21
	与勝第二中学校	132		87	4
	伊波中学校	280		359	13
2	具志川中学校	451	435	683	25
3	具志川東中学校	407	365	493	18
	影橋中学校	181		36	4
	津堅中学校	96		7	3
	石川中学校	292		403	16
	高江洲中学校	286		526	21
	小計	3,013		3,925	

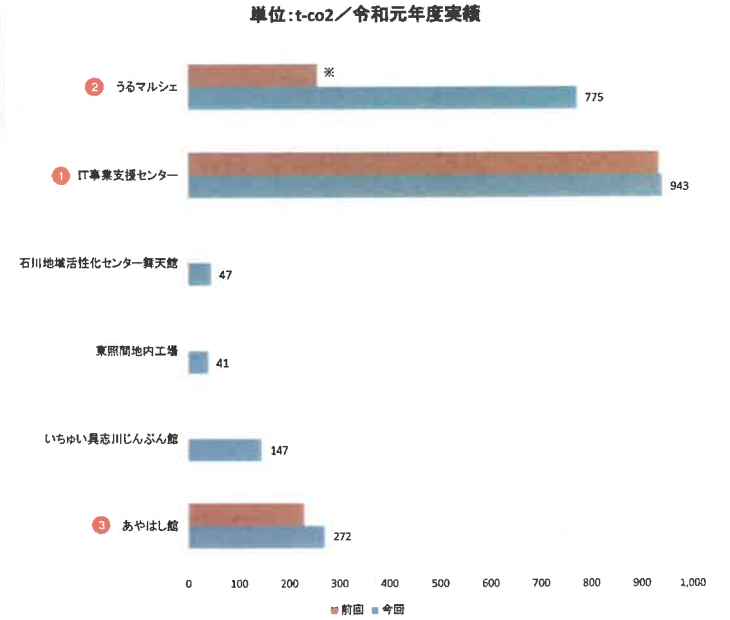


資料5

うるま市温室効果ガス排出量（産業施設別）

順位	産業施設別	今年	前年
	いちゅい具志川じんぶん館	147	
	東照間地内工場	41	
	石川地域活性化センター舞天館	47	
1	IT事業支援センター	943	937
2	うるマルシェ	775	259
	小計	2,225	

※ H30.11～H31.3（5ヶ月間）



資料6

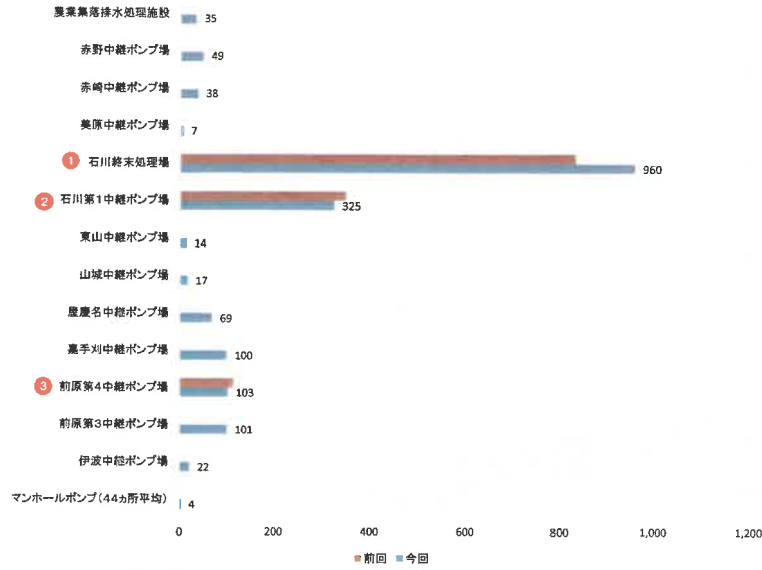
うるま市温室効果ガス排出量（下水道施設別）

資料7

※ 排出量の多い上位3施設

順位	下水道施設別	今回	前回
	マンホールポンプ(44ヶ所平均)	4	
	伊波中継ポンプ場	22	
3	前原第3中継ポンプ場	101	115
	前原第4中継ポンプ場	103	
	嘉手刈中継ポンプ場	100	
	豊慶名中継ポンプ場	69	
	山城中継ポンプ場	17	
	東山中継ポンプ場	14	
2	石川第1中継ポンプ場	325	350
1	石川終末処理場	960	834
	美原中継ポンプ場	7	
	赤崎中継ポンプ場	38	
	農業集排水処理施設	49	
	農業集排水処理施設	35	
	小計	1,842	

単位:t-co2/令和元年度実績



うるま市温室効果ガス排出量（庁舎別）

資料8

※ 排出量の多い上位3施設

順位	庁舎別	今回	前回
3	水道庁舎	105	114
	勝運庁舎	5	
1	本庁舎(東棟・西棟)	1,298	1,342
2	石川庁舎	277	315
	小計	1,685	

単位:t-co2/令和元年度実績

